



2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年5月12日

上場会社名 アニコム ホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8715 URL https://www.anicom.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 小森 伸昭
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部 部長 (氏名) 櫻井 紀彦 (TEL) 03(5348)3911
 定時株主総会開催予定日 2026年6月24日 配当支払開始予定日 2026年6月25日
 有価証券報告書提出予定日 2026年6月22日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期の連結業績(2025年4月1日～2026年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	73,846	9.1	3,543	△28.3	2,204	△32.1
2025年3月期	67,683	12.0	4,941	18.8	3,246	18.9

(注) 包括利益 2026年3月期 2,512百万円(△0.6%) 2025年3月期 2,526百万円(△16.8%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	経常収益 経常利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	29.77	—	8.0	4.7	4.8
2025年3月期	41.98	—	11.2	7.1	7.3

(参考) 持分法投資損益 2026年3月期 △47百万円 2025年3月期 一百万円

のれん償却前経常利益(経常利益+のれん償却額)

2026年3月期 3,801百万円 2025年3月期 5,191百万円

のれん償却前当期純利益(親会社株主に帰属する当期純利益+のれん償却額)

2026年3月期 2,462百万円 2025年3月期 3,496百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	76,693	28,942	37.9	395.06
2025年3月期	72,494	28,066	38.9	376.54

(参考) 自己資本 2026年3月期 29,091百万円 2025年3月期 28,215百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	4,820	△16,666	△1,672	9,092
2025年3月期	6,400	△5,091	271	22,610

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	—	0.00	—	8.50	8.50	636	20.2	2.3
2026年3月期	—	0.00	—	9.00	9.00	662	30.2	2.3
2027年3月期(予想)	—	0.00	—	13.50	13.50		30.4	

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	41,000	12.6	4,000	90.6	2,600	81.9	35.47
通期	81,000	9.7	5,000	41.1	3,250	47.4	44.43

※ 注記事項

- (1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期	74,939,160株	2025年3月期	74,939,160株
② 期末自己株式数	2026年3月期	1,300,732株	2025年3月期	4,232株
③ 期中平均株式数	2026年3月期	74,039,214株	2025年3月期	77,325,267株

(参考) 個別業績の概要

1. 2026年3月期の個別業績（2025年4月1日～2026年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	3,722	48.4	2,046	105.2	1,955	115.5	1,926	109.8
2025年3月期	2,507	△53.6	997	△74.3	907	△76.5	918	△79.0

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期	26.03	—
2025年3月期	11.88	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	29,387	18,442	62.8	250.44
2025年3月期	28,865	18,151	62.9	242.24

(参考) 自己資本 2026年3月期 18,442百万円 2025年3月期 18,151百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(業績予想の記述について)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]P. 2「1. (1) ②次連結会計年度の業績予想」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	3
2. 企業集団の状況	3
3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
4. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(金融商品関係)	12
(有価証券関係)	15
(セグメント情報等)	19
(1株当たり情報)	23
(重要な後発事象)	23
5. 個別財務諸表及び主な注記	24
(1) 貸借対照表	24
(2) 損益計算書	26
(3) 株主資本等変動計算書	27
6. その他	28
(1) 2026年3月期 損益の状況の対前期比較	28
(2) 経常収益の状況	29
(3) 種目別保険料・保険金	30
(4) 役員の変動	30
(5) その他	31

1. 経営成績等の概況

(1) 経営成績に関する説明

① 当連結会計年度の経営成績

当連結会計年度におけるわが国経済は、物価上昇や海外経済の不確実性の影響がみられたものの、企業収益の改善や雇用・所得環境の向上を背景に、個人消費は底堅く推移し、設備投資やインバウンド需要も回復するなど、内需を中心に景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方で、物価動向の先行きに加え、中東情勢の緊迫化など地政学的リスクの高まりに伴うエネルギー価格の上昇や金融資本市場への影響が懸念されるなど、世界経済の先行きは不透明な状況が続いております。

このようななか、当社グループの中核子会社であるアニコム損害保険株式会社の重点施策と位置付けている「ペット保険の更なる収益力向上」に向け、堅調なペット飼育需要の継続に加え、販売チャネルの営業活動強化の様々な取組みや他社からの契約移管により、保有契約数は1,392,772件（前期末から104,849件の増加・同8.1%増）と、順調に増加しております。また、E/I損害率^{注1)}については、ペットの平均寿命の伸長やどうぶつ医療の高度化、インフレの影響による診療費の高止まりなどにより、62.2%と前年度比で1.6pt上昇いたしました。既経過保険料ベース事業費率^{注2)}は、他社契約移管コストの発生によって、32.8%と前年度比で0.5pt上昇いたしました。この結果、両者を合算したコンバインド・レシオ（既経過保険料ベース）は前年度比で2.1pt上昇し95.0%となりました。

また、当社グループでは、引き続き第二期創業期の歩みを加速させる取組みを推進しております。あらゆるデータから、病気・ケガを分析し、「入って健康になる」予防型保険会社グループへ成長するため、新規事業の重点施策に対する取組みを、どうぶつのライフステージの川上から川下まで幅広く展開しております。川上での科学・技術・データに医療のサポートを加えたブリーディングやマッチングサイト運営を通じたブリーダー支援に加え、川中では「どうぶつ健活」によるどうぶつの健康チェックの普及、各検査をキーにした口腔・腸内ケア商材の開発・販売等の健康イノベーション事業の拡大を進めております。更に川下においては、どうぶつ医療における高度先進医療（手術支援ロボット、細胞治療）を実用化し拡大を図るとともに、カルテ管理システム事業の拡大（AIの導入、予約システム等の機能の充実）等とあわせ、データのさらなる活用による予防法の開発、ペット関連事業の領域拡大を目指しております。

以上の結果、当社グループにおける連結成績は次のとおりとなりました。

保険引受収益64,103百万円（前期比8.9%増）、資産運用収益1,640百万円（同3.4%増）、新規事業等を含むその他経常収益8,103百万円（同12.0%増）を合計した経常収益は過去最高の73,846百万円（同9.1%増）となりました。また、保険引受費用46,620百万円（同11.2%増）、営業費及び一般管理費20,706百万円（同16.0%増）などを合計した経常費用は70,303百万円（同12.1%増）となりました。この結果、経常利益は3,543百万円（同28.3%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は、2,204百万円（同32.1%減）となりました。

注1)E/I損害率：発生ベースでの損害率

(正味支払保険金+支払備金増減額+損害調査費)÷既経過保険料にて算出

注2)既経過保険料ベース事業費率：発生ベースの保険料(既経過保険料)に対する発生ベースの事業費率
損保事業費÷既経過保険料にて算出

② 次連結会計年度の業績予想

今後のわが国の経済環境については、賃上げや雇用・所得環境の改善を背景に内需が下支えし、緩やかな回復が期待される一方、物価上昇の長期化や金利動向、海外経済の減速懸念、地政学的リスクの影響等により、先行き不透明な状況が続くものと見込まれます。そうした環境下、当社グループの主たる事業であるペット保険事業は堅調に推移しており、昨年発表した「中期経営計画 2025-2027」の達成へ向け、次年度を重要な期と位置付けております。ペット保険事業は販売チャネルの多様化や保険の独自性追求、契約獲得コストの削減等を推進し、保険以外のシナジー創出事業も動物病院運営事業や健康イノベーション事業を中心とした取組みを一層加速させ、ペット業界のインフラプレーヤーを目指す当社グループとして経済的価値と社会的価値を両立させるサステナビリティ経営を行ってまいります。

次連結会計年度の業績予想につきましては、事業の拡大とともに社会的課題を解決しペット業界を主導していくことを両立させながら、経常収益81,000百万円、経常利益5,000百万円を見込んでおります。これら業績予想の前提となる見通しは、経営環境の変化、競争環境を含むペット保険市場の動向や今後のさらなる普及、拡販へ向けた取組みや、損害率改善施策の効果などを勘案した保険金の推移及び経費の予測に基づいております。なお、

業績予想は上記の前提条件に基づいておりますが、実際の業績は見通しと大きく異なる可能性があります。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末に比べ4,198百万円増加して76,693百万円となりました。その主な要因は、有形固定資産の増加3,347百万円であります。

負債の部は、前連結会計年度末に比べ3,323百万円増加して47,751百万円となりました。その主な要因は、保険契約の増加に伴う保険契約準備金の増加2,305百万円及びその他負債の増加5,957百万円、社債の減少5,000百万円であります。

純資産の部は、前連結会計年度末に比べ875百万円増加して28,942百万円となりました。その主な要因は、利益剰余金の増加1,567百万円及び自己株式の増加999百万円によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、保有契約の順調な増加により、責任準備金が1,721百万円増加したこと等により4,820百万円の収入となり、前連結会計年度に比べると1,580百万円の減少となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、16,666百万円の支出となりました。主に有価証券の取得による支出21,824百万円ですが、前連結会計年度に比べると11,575百万円の支出の増加となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前連結会計年度では271百万円の収入でしたが、当連結会計年度では、自己株式の取得による支出1,016百万円などにより当連結会計年度では1,672百万円の支出となりました。

これらの結果、当連結会計年度末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末より13,518百万円減少し、9,092百万円となりました。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主様に対する利益還元が重要な経営課題のひとつであるとの認識のもと、財務健全性と資本効率を踏まえ、中長期的な視野から、継続的・安定的な利益配分を行っていくことを株主還元の基本方針としております。2025年に策定した「中期経営計画 2025－2027」におきましては、第二期創業期における経営ビジョンに沿って、更なる企業価値の向上を実現すると同時に、資本・リスク・リターンバランスを取りながら、段階的に株主還元の改善を図り、配当性向30%水準を目指しております。こうした方針及び足元の業績推移も踏まえ、当期の期末配当金につきましては、2025年5月9日に公表いたしました配当予想どおり、前期実績から50銭を増額し、1株につき9円の株主配当を行うことを予定しております。

なお、次期以降の配当につきましても、引き続き、資本・リスク・リターンバランスを取りながら、株主還元向上の目線を持ち、段階的に株主還元の改善を図っていく方針であり、「中期経営計画 2025－2027」の目標である配当性向30%水準を目指すこととしております。次期配当につきましては当該方針及び株主様の期待に沿うべく、当期配当から4円50銭の増配を実施し、13円50銭の予想としております。

2. 企業集団の状況

アニコムグループは、保険持株会社である当社、アニコム損害保険株式会社をはじめとした連結子会社5社により構成されております。

当社は、経営管理及びそれに附随する業務を行う持株会社として、各事業会社の経営状況を把握し、グループのリスク管理、コンプライアンスの強化に努めるとともに、グループとしての事業戦略の策定、グループ間におけるシナジー発揮の促進等を業としております。

3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

アニコムグループは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

4. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
資産の部		
現金及び預貯金	26,460	13,392
有価証券	29,430	42,631
貸付金	44	-
有形固定資産	3,070	6,418
土地	881	569
建物	1,315	3,228
リース資産	42	37
建設仮勘定	95	487
その他の有形固定資産	735	2,096
無形固定資産	3,944	3,659
ソフトウェア	933	1,188
ソフトウェア仮勘定	583	295
のれん	2,422	2,164
その他の無形固定資産	3	10
その他資産	7,837	8,788
共同保険貸	1	2
再保険貸	6	16
未収金	3,672	4,058
未収保険料	729	733
仮払金	836	1,027
その他の資産	2,591	2,951
繰延税金資産	1,764	1,815
貸倒引当金	△57	△12
資産の部合計	72,494	76,693
負債の部		
保険契約準備金	26,774	29,080
支払備金	3,532	4,116
責任準備金	23,242	24,964
社債	10,000	5,000
その他負債	7,152	13,109
借入金	115	5,105
未払法人税等	1,183	571
未払金	2,994	4,318
その他の負債	2,859	3,114
賞与引当金	325	350
特別法上の準備金	175	210
価格変動準備金	175	210
負債の部合計	44,427	47,751

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,202	8,202
資本剰余金	7,272	7,272
利益剰余金	14,660	16,227
自己株式	△2	△1,002
株主資本合計	30,132	30,700
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,916	△1,608
その他の包括利益累計額合計	△1,916	△1,608
新株予約権	△149	△149
純資産の部合計	28,066	28,942
負債及び純資産の部合計	72,494	76,693

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
経常収益	67,683	73,846
保険引受収益	58,862	64,103
正味収入保険料	58,862	64,103
資産運用収益	1,586	1,640
利息及び配当金収入	777	901
有価証券売却益	808	738
その他運用収益	-	0
その他経常収益	7,235	8,103
その他の経常収益	7,235	8,103
経常費用	62,742	70,303
保険引受費用	41,928	46,620
正味支払保険金	33,345	37,213
損害調査費	1,122	1,256
諸手数料及び集金費	5,235	5,844
支払備金繰入額	286	583
責任準備金繰入額	1,937	1,721
資産運用費用	263	27
有価証券売却損	19	25
有価証券評価損	243	2
為替差損	0	0
営業費及び一般管理費	17,857	20,706
その他経常費用	2,693	2,949
支払利息	37	89
持分法による投資損失	-	47
貸倒引当金繰入額	7	0
その他の経常費用	2,647	2,812
経常利益	4,941	3,543
特別利益	1	0
固定資産処分益	1	0
特別損失	193	326
固定資産処分損	123	53
減損損失	41	228
特別法上の準備金繰入額	28	35
価格変動準備金繰入額	28	35
その他の特別損失	-	9
税金等調整前当期純利益	4,749	3,216
法人税及び住民税等	1,689	1,188
法人税等調整額	△134	△176
法人税等合計	1,555	1,011
当期純利益	3,194	2,204
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△51	-
親会社株主に帰属する当期純利益	3,246	2,204

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純利益	3,194	2,204
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△668	308
その他の包括利益合計	△668	308
包括利益	2,526	2,512
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	2,578	2,512
非支配株主に係る包括利益	△51	-

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	8,202	8,092	15,850	△1,001	31,144
当期変動額					
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		△759			△759
連結子会社の増資による持分の増減		△60			△60
剰余金の配当			△438		△438
親会社株主に帰属する当期純利益			3,246		3,246
自己株式の取得				△3,000	△3,000
自己株式の消却			△3,998	3,998	-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	△819	△1,190	998	△1,011
当期末残高	8,202	7,272	14,660	△2	30,132

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	△1,248	△1,248	0	256	30,152
当期変動額					
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動					△759
連結子会社の増資による持分の増減					△60
剰余金の配当					△438
親会社株主に帰属する当期純利益					3,246
自己株式の取得					△3,000
自己株式の消却					-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△668	△668	△150	△256	△1,074
当期変動額合計	△668	△668	△150	△256	△2,086
当期末残高	△1,916	△1,916	△149	-	28,066

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	8,202	7,272	14,660	△2	30,132
当期変動額					
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動					-
連結子会社の増資による持分の増減					-
剰余金の配当			△636		△636
親会社株主に帰属する当期純利益			2,204		2,204
自己株式の取得				△999	△999
自己株式の消却					-
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	-	-	1,567	△999	567
当期末残高	8,202	7,272	16,227	△1,002	30,700

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	△1,916	△1,916	△149	-	28,066
当期変動額					
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動					-
連結子会社の増資による持分の増減					-
剰余金の配当					△636
親会社株主に帰属する当期純利益					2,204
自己株式の取得					△999
自己株式の消却					-
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	308	308	-	-	308
当期変動額合計	308	308	-	-	875
当期末残高	△1,608	△1,608	△149	-	28,942

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	4,749	3,216
減価償却費	845	1,232
減損損失	41	228
のれん償却額	250	258
支払備金の増減額 (△は減少)	286	583
責任準備金の増減額 (△は減少)	1,937	1,721
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	7	△44
賞与引当金の増減額 (△は減少)	20	24
価格変動準備金の増減額 (△は減少)	28	35
利息及び配当金収入	△777	△901
有価証券関係損益 (△は益)	△544	△710
持分法による投資損益 (△は益)	-	47
支払利息	37	89
有形固定資産関係損益 (△は益)	121	53
その他資産 (除く投資活動関連、財務活動関連)の増減額 (△は増加)	△358	△605
その他負債 (除く投資活動関連、財務活動関連)の増減額 (△は減少)	631	496
その他	76	73
小計	7,354	5,799
利息及び配当金の受取額	763	881
利息の支払額	△17	△101
法人税等の支払額	△1,699	△1,758
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,400	4,820
投資活動によるキャッシュ・フロー		
預貯金の純増減額 (△は増加)	△1,000	△450
有価証券の取得による支出	△7,524	△21,824
有価証券の売却・償還による収入	5,388	10,809
貸付金の回収による収入	-	44
資産運用活動計	△3,135	△11,421
営業活動及び資産運用活動計	3,265	△6,600
有形固定資産の取得による支出	△586	△4,925
有形固定資産の売却による収入	1	227
無形固定資産の取得による支出	△683	△486
事業譲受による支出	△224	-
関係会社株式の取得による支出	-	△47
その他	△463	△13
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,091	△16,666

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
借入れによる収入	-	5,000
借入金の返済による支出	△9	△9
社債の発行による収入	4,966	-
社債の償還による支出	-	△5,000
リース債務の返済による支出	△9	△11
自己株式の取得による支出	△3,062	△1,016
配当金の支払額	△438	△635
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△1,024	-
自己新株予約権の取得による支出	△150	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	271	△1,672
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,581	△13,518
現金及び現金同等物の期首残高	21,029	22,610
現金及び現金同等物の期末残高	22,610	9,092

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(金融商品関係)

1. 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

当社及び連結子会社は、主として損害保険業を行っており、資産の運用においては、運用資金の性格を考慮し、「安全性」「収益性」「流動性」「公共性」を総合的に判断し、社会・公共の福祉に資するような資産運用を目指しております。

運用手段は、預貯金、公社債、公社債投信、株式、株式投信、不動産投信等とし、年度資産運用計画に準拠した資産運用を行っております。

資金調達については、主として事業投資資金の確保を目的として、借入金の受入及び社債の発行を行っております。資金調達が必要な場合には、グループ全体の資金収支を勘案し、調達額や調達手段等を決定しております。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

当社及び連結子会社の保有する金融商品は、預貯金、公社債、公社債投信、株式、株式投信、不動産投信等であり、下記のリスクに晒されております。

① 市場関連リスク

金利、為替、株式などの市場の変動に伴い、ポートフォリオの価値が変動し損失を被るリスクを指します。

② 信用リスク

個別与信先の信用力の変化に伴い、ポートフォリオの価値が変動し損失を被るリスクを指します。

③ 流動性リスク

市場の混乱等により市場において取引ができなかったり、通常よりも著しく不利な価格での取引を余儀なくされるリスクを指します。

(3) 金融商品に係るリスク管理体制

アニコム損害保険株式会社におけるリスク管理体制については、資産運用部門(財務部)、事務管理部門(経理部)、リスク管理部門(リスク管理部)を設置し、資産運用リスク管理規程に基づき、相互牽制機能が働く体制としております。

① 市場関連リスクの管理

有価証券のうち株式・債券等については時価とリスク量を把握し、保有状況を継続的に見直しております。

② 信用リスクの管理

有価証券の発行体の信用リスクについては、銘柄ごとの格付情報、時価等の把握を行うことで管理をしております。また、政策投資目的で保有している有価証券については、取引先の市場環境や業績状況等を定期的にモニタリングしております。

リスク管理も含めた資産運用状況については、取締役会において月次で報告され、モニタリング結果の確認及びリスク管理態勢の整備を行っております。

③ 流動性リスクの管理

流動性リスクには、最低限維持すべき資金を確保するとともに、流動性の高い資産の保有状況、資金繰りの状況、個別金融商品の状況等を把握することにより、適切にリスクをコントロールしております。また、資金繰りの状況に応じた「平常時」・「懸念時」・「危機時」の区分、及び区分に応じた対応を定め、資金繰りに影響を与える緊急事態が発生した際に、迅速な対応を行うことができる体制を構築しております。

(4) 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。

2. 金融商品の時価等に関する事項

連結貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

前連結会計年度(2025年3月31日)

	連結貸借対照表計上額 (百万円)	時価(百万円)	差額(百万円)
(1) 有価証券			
満期保有目的の債券	4,400	4,242	△157
その他有価証券(*2)(*3)	23,829	23,829	—
(2) 貸付金	44		
貸倒引当金(*4)	△43		
	1	1	—
資産計	28,230	28,072	△157
社債	10,000	9,872	△127
借入金	115	110	△4
負債計	10,115	9,982	△132

(*1) 「現金及び預貯金」、「未収金」は、短期間で決済されるため、時価は帳簿価額に近似していることから、注記を省略しております。

(*2) 投資信託の一部について、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に従い、投資信託の基準価額を時価とみなしており、当該投資信託が含まれております。

(*3) 市場価格のない株式等及び組合出資金は以下のとおりであり、「(1) 有価証券」には含めておりません。

(単位：百万円)

区分	前連結会計年度 (2025年3月31日)
市場価格のない株式等 ※1	821
組合出資金 ※2	379
合計	1,201

※1 市場価格のない株式等は非上場株式等であり、「金融商品の時価等の開示に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第19号 2020年3月31日)第5項に基づき、時価開示の対象とはしていません。

※2 組合出資金は投資事業有限責任組合及び匿名組合であります。これらは「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日)第24-16項に基づき、時価開示の対象とはしていません。

(*4) 貸付金に対応する個別貸倒引当金を控除しております。

当連結会計年度(2026年3月31日)

	連結貸借対照表計上額 (百万円)	時価(百万円)	差額(百万円)
有価証券			
満期保有目的の債券	5,100	4,799	△300
その他有価証券(*2)(*3)	36,289	36,289	—
資産計	41,389	41,089	△300
社債	5,000	4,817	△183
借入金	5,105	5,096	△9
負債計	10,105	9,913	△192

(*1)「現金及び預貯金」、「未収金」は、短期間で決済されるため、時価は帳簿価額に近似していることから、注記を省略しております。

(*2)投資信託の一部について、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に従い、投資信託の基準価額を時価とみなしており、当該投資信託が含まれております。

(*3)市場価格のない株式等及び組合出資金は以下のとおりであり、「有価証券」には含めておりません。

(単位：百万円)

区分	当連結会計年度 (2026年3月31日)
市場価格のない株式等 ※1	865
組合出資金 ※2	375
合計	1,241

※1 市場価格のない株式等は非上場株式等であり、「金融商品の時価等の開示に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第19号 2020年3月31日)第5項に基づき、時価開示の対象とはしておりません。

※2 組合出資金は投資事業有限責任組合及び匿名組合であります。これらは「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日)第24-16項に基づき、時価開示の対象とはしておりません。

(注) 1 金銭債権及び満期のある有価証券の連結決算日後の償還予定額
前連結会計年度(2025年3月31日)

	1年以内 (百万円)	1年超 5年以内 (百万円)	5年超 10年以内 (百万円)	10年超 (百万円)
預貯金	26,399	—	—	—
有価証券				
満期保有目的の債券				
地方債	—	800	1,200	—
社債	—	1,100	1,300	—
その他有価証券のうち満期があるもの				
地方債	—	1,000	1,600	—
社債	—	1,000	1,100	—
貸付金(*)	1	—	—	—
未収金(*)	3,660	—	—	—
合計	30,061	3,900	5,200	—

(*) 貸付金および未収金に対する貸倒引当金については、重要性が乏しいため、連結貸借対照表計上額から直接減額しております。

当連結会計年度(2026年3月31日)

	1年以内 (百万円)	1年超 5年以内 (百万円)	5年超 10年以内 (百万円)	10年超 (百万円)
預貯金	13,295	—	—	—
有価証券				
満期保有目的の債券				
地方債	—	1,200	1,300	—
社債	—	1,900	700	—
その他有価証券のうち満期があるもの				
国債	6,900	—	—	—
地方債	—	1,500	1,700	—
社債	—	1,640	1,100	—
未収金(*)	4,032	—	—	—
合計	24,228	6,240	4,800	—

(*) 未収金に対する貸倒引当金については、重要性が乏しいため、連結貸借対照表計上額から直接減額しております。

2 社債、借入金の連結決算日後の返済予定額

前連結会計年度(2025年3月31日)

	1年以内 (百万円)	1年超 2年以内 (百万円)	2年超 3年以内 (百万円)	3年超 4年以内 (百万円)	4年超 5年以内 (百万円)	5年超 (百万円)
社債	5,000	—	—	—	5,000	—
借入金	9	9	9	9	9	68
合計	5,009	9	9	9	5,009	68

当連結会計年度(2026年3月31日)

	1年以内 (百万円)	1年超 2年以内 (百万円)	2年超 3年以内 (百万円)	3年超 4年以内 (百万円)	4年超 5年以内 (百万円)	5年超 (百万円)
社債	—	—	—	5,000	—	—
借入金	5,009	9	9	9	9	59
合計	5,009	9	9	5,009	9	59

(有価証券関係)

1. 売買目的有価証券

該当事項はありません。

2. 満期保有目的の債券

前連結会計年度(2025年3月31日)

区分	連結貸借対照表計上額 (百万円)	時価 (百万円)	差額 (百万円)
時価が連結貸借対照表計上額 を超えるもの			
公社債			
地方債	—	—	—
社債	—	—	—
小計	—	—	—

時価が連結貸借対照表計上額 を超えないもの			
公社債			
地方債	2,000	1,920	△79
社債	2,400	2,321	△78
小計	4,400	4,242	△157
合計	4,400	4,242	△157

当連結会計年度(2026年3月31日)

区分	連結貸借対照表計上額 (百万円)	時価 (百万円)	差額 (百万円)
時価が連結貸借対照表計上額 を超えるもの			
公社債			
地方債	—	—	—
社債	—	—	—
小計	—	—	—
時価が連結貸借対照表計上額 を超えないもの			
公社債			
地方債	2,500	2,340	△159
社債	2,600	2,458	△141
小計	5,100	4,799	△300
合計	5,100	4,799	△300

3. その他有価証券

前連結会計年度(2025年3月31日)

種類	連結貸借対照表計上額 (百万円)	取得原価(百万円)	差額 (百万円)	
連結貸借対照表計上額が取得原価を を超えるもの	株式	1,314	955	359
	公社債			
	地方債	—	—	—
	社債	—	—	—
	その他	3,089	2,502	586
小計	4,404	3,458	946	
連結貸借対照表計上額が取得原価を を超えないもの	株式	243	269	△25
	公社債			
	地方債	2,488	2,600	△111
	社債	2,028	2,100	△71
	その他	14,664	18,098	△3,434
小計	19,424	23,068	△3,643	
合計	23,829	26,526	△2,697	

(注) 市場価格のない株式等及び組合出資金は、上表に含めておりません。

当連結会計年度(2026年3月31日)

種類		連結貸借対照表計上額 (百万円)	取得原価(百万円)	差額 (百万円)
連結貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	株式	1,786	1,396	390
	公社債			
	国債	—	—	—
	地方債	—	—	—
	社債	—	—	—
	その他	7,032	5,663	1,369
	小計	8,819	7,059	1,759
連結貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	株式	664	686	△21
	公社債			
	国債	6,876	6,877	△0
	地方債	2,986	3,200	△213
	社債	2,601	2,740	△138
	その他	14,340	17,990	△3,649
	小計	27,470	31,493	△4,023
合計	36,289	38,553	△2,263	

(注) 市場価格のない株式等及び組合出資金は、上表に含めておりません。

4. 連結会計年度中に売却した満期保有目的の債券
該当事項はありません。

5. 連結会計年度中に売却したその他有価証券
前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

種類	売却額(百万円)	売却益の合計額(百万円)	売却損の合計額(百万円)
株式	642	542	—
その他	4,847	266	19
合計	5,490	808	19

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

種類	売却額(百万円)	売却益の合計額(百万円)	売却損の合計額(百万円)
株式	1,262	384	—
公社債			
国債	2,789	1	—
その他	6,252	354	25
合計	10,304	740	25

6. 保有目的を変更した有価証券
該当事項はありません。

7. 連結会計年度中に減損処理を行った有価証券

前連結会計年度において、その他有価証券で市場価格のない株式等について239百万円（うち株式239百万円）の減損処理を行っております。

当連結会計年度において、その他有価証券で市場価格のない株式等について9百万円（うち株式9百万円）の減損処理を行っております。

なお、減損処理にあたっては、市場価格のない株式等は、帳簿価額に対して実質価額が50%超下落した場合には、回収可能性等を考慮して必要と認められた額について減損処理を行っております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、「損害保険事業」「ペット向けインターネットサービス事業」「動物病院運営事業」「健康イノベーション事業」を報告セグメントとしております。

損害保険事業：ペット保険の保険引受業務及び資産運用業務

ペット向けインターネットサービス事業：ブリーダーとのマッチングサイトや譲渡などの里親マッチングサイト運営等

動物病院運営事業：どうぶつ医療分野における基礎研究の推進、科学的根拠に基づく診療方法の確立及び、予防・先進医療の開発に向けた研究・臨床・開発等を行うとともに、地域獣医療のサポートとしての病院承継

健康イノベーション事業：ペットの健康維持に必要となる口腔・腸内ケア商材の開発・販売

(報告セグメントの変更等に関する事項)

当連結会計年度より、従来「ペット向けインターネットサービス事業」及び「その他」に含まれていた「動物病院運営事業」及び「健康イノベーション事業」について質的な重要性が高まったため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前連結会計年度のセグメント情報については、変更後の区分により作成しております。

2. 報告セグメントごとの経常収益、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。報告セグメントの利益は経常利益をベースとした数値であります。

セグメント間の内部経常収益は、第三者間取引価格に基づいております。

(セグメント資産の算定方法の変更)

当連結会計年度より、報告セグメントの変更により、最高経営意思決定機関における業績評価及び資源配分のために使用される資産情報の範囲が変更されました。これに伴い、セグメント資産の算定対象範囲を従来の全資産から連結貸借対照表に計上されている有価証券、有形固定資産、無形固定資産及び「その他の資産」に含まれる棚卸資産に変更し、各セグメントに配分しております。また、セグメント負債については、事業セグメントに負債を配分していないため記載しておりません。

なお、前連結会計年度のセグメント情報については、変更後の算定方法により作成しております。

3. 報告セグメントごとの経常収益、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務 諸表計上額 (注) 3, 4
	損害保険 事業	ペット向 けインタ ーネット サービス 事業	動物病院 運営事業	健康イノ ベーション 事業	計				
外部顧客への経常収益	60,479	2,240	2,169	346	65,236	2,447	67,683	—	67,683
セグメント間の内部 経常収益又は振替高	325	467	12	9	815	242	1,058	△1,058	—
計	60,805	2,708	2,182	356	66,051	2,690	68,741	△1,058	67,683
セグメント利益又は 損失(△)	5,602	239	△28	△132	5,681	△730	4,951	△10	4,941
セグメント資産	32,500	1,431	878	435	35,245	2,147	37,392	△10	37,382
その他の項目									
減価償却費	459	6	90	3	558	286	845	△0	845
のれんの償却額	—	133	73	—	207	43	250	—	250
資産運用収益	1,589	0	1	0	1,591	4	1,595	△9	1,586
支払利息	33	—	—	—	33	4	37	—	37
持分法投資利益	—	—	—	—	—	—	—	—	—
減損損失	—	—	16	—	16	25	41	—	41
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	728	0	277	8	1,014	387	1,402	△10	1,392

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、動物病院支援事業、遺伝子検査事業等を含んでおります。

2. 調整額は、セグメント間取引の消去額です。

3. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の経常利益と一致しております。

4. セグメント資産は、連結貸借対照表の有価証券、有形固定資産、無形固定資産及び「その他の資産」に含まれる棚卸資産の合計額と一致しております。

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務 諸表計上額 (注) 3, 4
	損害保険 事業	ペット向 けインタ ーネット サービス 事業	動物病院 運営事業	健康イ ンフォ メーショ ン事業	計				
外部顧客への経常収益	65,817	2,270	2,401	573	71,063	2,783	73,846	—	73,846
セグメント間の内部 経常収益又は振替高	315	204	24	52	597	233	830	△830	—
計	66,133	2,475	2,425	626	71,660	3,016	74,677	△830	73,846
セグメント利益又は 損失(△)	4,797	103	△717	△308	3,873	△303	3,570	△27	3,543
セグメント資産	47,505	1,297	2,162	568	51,533	2,480	54,014	△37	53,976
その他の項目									
減価償却費	579	5	405	4	995	240	1,236	△3	1,232
のれんの償却額	—	133	81	—	215	43	258	—	258
資産運用収益	1,625	2	1	0	1,629	20	1,650	△10	1,640
支払利息	82	—	—	—	82	7	90	△0	89
持分法投資利益	—	—	—	—	—	△47	△47	—	△47
減損損失	228	—	—	—	228	—	228	—	228
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	3,071	0	1,896	33	5,002	524	5,526	△27	5,498

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、動物病院支援事業、遺伝子検査事業等を含んでおります。

2. 調整額は、セグメント間取引の消去額です。

3. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の経常利益と一致しております。

4. セグメント資産は、連結貸借対照表の有価証券、有形固定資産、無形固定資産及び「その他の資産」に含まれる棚卸資産の合計額と一致しております。

【関連情報】

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への経常収益が連結損益計算書の経常収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 経常収益

本邦以外の国または地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外の国または地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：百万円)

	損害保険事業	ペット向けインターネットサービス事業	動物病院運営事業	健康イノベーション事業	その他	全社・消去	合計
当期償却額	—	133	73	—	43	—	250
当期末残高	—	1,337	482	—	602	—	2,422

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位：百万円)

	損害保険事業	ペット向けインターネットサービス事業	動物病院運営事業	健康イノベーション事業	その他	全社・消去	合計
当期償却額	—	133	81	—	43	—	258
当期末残高	—	1,203	401	—	559	—	2,164

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	376円54銭	395円06銭
1株当たり当期純利益	41円98銭	29円77銭

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益について、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	3,246	2,204
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	3,246	2,204
普通株式の期中平均株式数(株)	77,325,267	74,039,214

(重要な後発事象)

(自己株式の取得)

当社は、2026年5月12日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式の取得に係る事項を決議いたしました。

1. 自己株式の取得を行う理由

当社は、株主に対する利益還元が経営課題のひとつであるとの認識のもと、財務健全性と資本効率を踏まえ、中長期的な視野から、継続的・安定的な利益配分を行っていくことを基本方針としております。

2025年5月9日に公表いたしました「中期経営計画 2025—2027」におきましても、株主還元につきましては配当を基本としつつ、自己株取得につきましても機動的に実施していくこととしております。

今般、2025年度の当社決算状況を踏まえ、下記2. のとおり、10億円を上限とする自己株式の取得について決定いたしました。

2. 取得に係る事項の内容

①取得対象株式の種類	当社普通株式
②取得し得る株式の総数	1,000,000株(上限)
③株式の取得価額の総額	1,000百万円(上限)
④取得期間	2026年6月1日～2026年7月31日
⑤取得方法	東京証券取引所における市場買付け

5. 個別財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当事業年度 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,023	1,489
関係会社預け金	-	3,600
前払費用	25	69
未収入金	206	357
未収還付法人税等	86	-
その他	0	0
流動資産合計	6,343	5,517
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	10	9
工具、器具及び備品（純額）	53	54
リース資産	9	7
有形固定資産合計	73	70
無形固定資産		
特許権	1	1
ソフトウェア	33	46
無形固定資産合計	35	47
投資その他の資産		
投資有価証券	-	3
関係会社株式	21,891	23,225
長期前払費用	7	8
敷金	473	475
繰延税金資産	10	15
投資その他の資産合計	22,382	23,727
固定資産合計	22,491	23,845
繰延資産		
社債発行費	30	24
繰延資産合計	30	24
資産合計	28,865	29,387
負債の部		
流動負債		
短期借入金	-	5,000
1年内償還予定の社債	5,000	-
リース債務	2	2
未払法人税等	-	11
未払費用	21	20
未払金	217	436
預り金	11	12
賞与引当金	14	15
その他	0	0
流動負債合計	5,267	5,499
固定負債		
社債	5,000	5,000
リース債務	7	5
長期預り保証金	438	441
固定負債合計	5,445	5,446
負債合計	10,713	10,945

(単位：百万円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当事業年度 (2026年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,202	8,202
資本剰余金		
資本準備金	8,092	8,092
資本剰余金合計	8,092	8,092
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	1,859	3,149
利益剰余金合計	1,859	3,149
自己株式	△2	△1,002
株主資本合計	18,151	18,442
純資産合計	18,151	18,442
負債純資産合計	28,865	29,387

(2) 損益計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当事業年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業収益		
経営管理料	1,489	1,685
関係会社受取配当金	1,018	2,037
営業収益合計	2,507	3,722
営業費用		
販売費及び一般管理費	1,510	1,675
営業費用合計	1,510	1,675
営業利益	997	2,046
営業外収益		
受取利息	3	15
その他	3	2
営業外収益合計	6	17
営業外費用		
支払利息	0	31
社債利息	35	55
社債発行費	2	6
その他	58	15
営業外費用合計	96	108
経常利益	907	1,955
特別損失		
固定資産除売却損	0	0
関係会社株式評価損	-	47
特別損失合計	0	47
税引前当期純利益	907	1,907
法人税、住民税及び事業税	△29	△14
法人税等調整額	18	△4
法人税等合計	△11	△19
当期純利益	918	1,926

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金		利益剰余金	
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計
当期首残高	8,202	8,092	8,092	5,377	5,377
当期変動額					
剰余金の配当				△438	△438
当期純利益				918	918
自己株式の取得					
自己株式の消却				△3,998	△3,998
当期変動額合計	-	-	-	△3,518	△3,518
当期末残高	8,202	8,092	8,092	1,859	1,859

	株主資本		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	
当期首残高	△1,001	20,671	20,671
当期変動額			
剰余金の配当		△438	△438
当期純利益		918	918
自己株式の取得	△3,000	△3,000	△3,000
自己株式の消却	3,998	-	-
当期変動額合計	998	△2,519	△2,519
当期末残高	△2	18,151	18,151

当事業年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金		利益剰余金	
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計
当期首残高	8,202	8,092	8,092	1,859	1,859
当期変動額					
剰余金の配当				△636	△636
当期純利益				1,926	1,926
自己株式の取得					
自己株式の消却					
当期変動額合計	-	-	-	1,290	1,290
当期末残高	8,202	8,092	8,092	3,149	3,149

	株主資本		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	
当期首残高	△2	18,151	18,151
当期変動額			
剰余金の配当		△636	△636
当期純利益		1,926	1,926
自己株式の取得	△999	△999	△999
自己株式の消却		-	-
当期変動額合計	△999	290	290
当期末残高	△1,002	18,442	18,442

6. その他

(1) 2026年3月期 損益の状況の対前期比較

(単位：百万円)

区分		前連結会計年度 (自2024年4月1日 至2025年3月31日)	当連結会計年度 (自2025年4月1日 至2026年3月31日)	比較増減	増減率 (%)
経常 損益	保険引受収益	58,862	64,103	5,241	8.9
	(うち正味収入保険料)	(58,862)	(64,103)	(5,241)	(8.9)
	保険引受費用	41,928	46,620	4,691	11.2
	(うち正味支払保険金)	(33,345)	(37,213)	(3,867)	(11.6)
	(うち損害調査費)	(1,122)	(1,256)	(133)	(11.9)
	(うち諸手数料及び集金費)	(5,235)	(5,844)	(609)	(11.6)
	(うち支払備金繰入額)	(286)	(583)	(297)	(103.8)
	(うち責任準備金繰入額)	(1,937)	(1,721)	(△215)	(△11.1)
	資産運用収益	1,586	1,640	53	3.4
	(うち利息及び配当金収入)	(777)	(901)	(124)	(16.0)
	(うち有価証券売却益)	(808)	(738)	(△70)	(△8.7)
	資産運用費用	263	27	△236	△89.5
	(うち有価証券売却損)	(19)	(25)	(5)	(30.0)
(うち有価証券評価損)	(243)	(2)	(△241)	△99.2	
営業費及び一般管理費	17,857	20,706	2,849	16.0	
その他経常損益	4,541	5,153	611	13.5	
経常利益	4,941	3,543	△1,398	△28.3	
特別 損益	特別利益	1	0	△1	△96.0
	特別損失	193	326	133	69.2
	特別損益	△191	△326	△135	—
税金等調整前当期純利益		4,749	3,216	△1,533	△32.3
法人税及び住民税等		1,689	1,188	△500	△29.6
法人税等調整額		△134	△176	△42	—
法人税等合計		1,555	1,011	△543	△34.9
当期純利益		3,194	2,204	△990	△31.0
非支配株主に帰属する当期純損失 (△)		△51	—	51	—
親会社株主に帰属する当期純利益		3,246	2,204	△1,042	△32.1

(2) 経常収益の状況

最近2連結会計年度の経常収益をセグメント別に示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)	対前年増減 (△)率
	金額(百万円)	金額(百万円)	(%)
損害保険事業(ペット保険)	60,479	65,817	8.8
損害保険(アニコム損害保険㈱)	60,479	65,817	8.8
(うち正味収入保険料)	58,862	64,103	8.9
ペット向けインターネットサービス事業	2,240	2,270	1.3
動物病院運営事業	2,169	2,401	10.7
健康イノベーション事業	346	573	65.8
その他の事業	2,447	2,783	13.7
動物病院支援	349	386	10.6
保険代理店	14	20	39.3
遺伝子検査等	320	335	4.6
その他	1,762	2,041	15.8
合計	67,683	73,846	9.1

(注) 1. 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合については、全体の10%を超える相手先が無いため記載しておりません。

2. 当連結会計年度より、従来「ペット向けインターネットサービス事業」及び「その他」に含まれていた「動物病院運営事業」及び「健康イノベーション事業」について質的な重要性が高まったため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前連結会計年度のセグメント情報については、変更後の区分により作成しております。

(3) 種目別保険料・保険金

アニコム損害保険株式会社における保険引受の実績は以下のとおりであります。

① 元受正味保険料(含む収入積立保険料)

区分	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)			当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 (△)率 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 (△)率 (%)
ペット保険	58,836	100.0	8.4	64,042	100.0	8.8
合計	58,836	100.0	8.4	64,042	100.0	8.8
(うち収入積立保険料)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)

(注) 1. 元受正味保険料(含む収入積立保険料)とは、元受保険料から元受解約返戻金及び元受その他返戻金を控除したものであります(積立型保険の積立保険料を含む)。

2. 諸数値はセグメント間の内部取引相殺後の金額であります。

② 正味収入保険料

区分	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)			当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 (△)率 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 (△)率 (%)
ペット保険	58,862	100.0	8.5	64,103	100.0	8.9
合計	58,862	100.0	8.5	64,103	100.0	8.9

(注) 1. 諸数値はセグメント間の内部取引相殺後の金額であります。

③ 正味支払保険金

区分	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)			当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 (△)率 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 (△)率 (%)
ペット保険	33,345	100.0	9.3	37,213	100.0	11.6
合計	33,345	100.0	9.3	37,213	100.0	11.6

(注) 1. 諸数値はセグメント間の内部取引相殺後の金額であります。

(4) 役員の変動

(新任取締役候補者)

社外取締役 大和田 征矢

社外取締役 勝屋 敏彦

社外取締役 林 史朗

その他の取締役および監査役につきましては、2026年6月24日開催予定の当社第26回定時株主総会にてその選任を付議する予定でありますが、現時点では未定であります。

(5) その他

当社は、新たな経済価値ベースのソルベンシー規制（以下、「新ソルベン」）への移行を踏まえ、従来開示しておりましたソルベンシー・マージン比率の本資料への掲載を取りやめております。

なお、新ソルベンに基づく指標（経済価値ベースのソルベンシー比率（ESR: Economic value-based Solvency Ratio））につきましては、2026年7月末に発行予定のディスクロージャー誌において公表することを検討しています。